

## 平成19年度第二回 GBIF 日本ノード委員会議事要旨

日 時：平成20年1月22日（火）13：00～13：50

場 所：科学技術振興機構東京本部

出席委員：伊藤 元己 岩槻 邦男 上田 恭一郎 菊池 俊一 佐藤 聡 志村 純子 城石 俊彦  
白山 義久 多田内 修 松浦 啓一 馬渡 駿介 宮崎 智 山崎 由紀子 菅原 秀明

傍 聴 者：文部科学省（松尾専門官、西嶋係長、竹内係員）、神保 宇嗣（東京大学 PD）  
森脇 和郎（理化学研究所特別顧問）

事 務 局：国立遺伝学研究所（梅澤共同研究係長、太田共同研究係員）

### 議 事

#### 1. 平成19年度事業中間報告

- (1) 菅原委員より、資料1に基づき、第二回ワークショップの報告と GBIF 日本データノードホームページ事業についての説明があった。また、ワークショップのプログラム7に関連し、松浦委員より、国土交通省所有の標本・標本情報を全国の自然史系博物館にて引き受ける方向で動いている旨の説明があった。
- (2) 伊藤委員長より、資料2に基づき、和名から学名へ変換する辞書の開発、生物分布情報の収集について説明があり、和名及び学名の異名や変更の変遷について出席者より指摘があり、今後検討していくこととなった。
- (3) 松浦委員より、資料3に基づき、全国の自然史系博物館との連携を強化するため、全国の自然史系博物館関係者を集めて集会を開き、合わせてデータの提供を呼びかけていること及び国交省からの標本・標本情報の受入れに関する説明があった。提供の際に発生するコストについて提供者が心配していること及びデータの偏りについて出席者から指摘があり、今後は広報活動の際に、GBIF への情報提供に際してのコストの説明を強化し、あわせて、重要で、かつ既に電子化されている生物多様性情報は優先的に取扱っていくことにした。

#### 2. その他

委員長より謝辞が述べられ、閉会した。